



# やすみ町議会だより

発行／鳥取県八頭町議会 編集／八頭町議会広報常任委員会  
Tel.0858-72-3975 Fax.0858-72-2641



## みんな笑顔で体操！

(子育て支援センター、大御門まちづくり委員会世代間交流)

### もくじ

■ 12月定例会	2
■ 臨時会 (第7回)	5
■ 常任委員会活動報告	6
■ 議会報告会	7
■ 一般質問(10人が質問)	7
■ 議案等議決結果	18
■ 定例会等の出欠日数一覧	19
■ 私も言いたい(議員OBからの声)	20

## 第48号

(平成29年2月)



町の木「柿」

# 船岡保育所 完成間近!!

12月  
定例会

12月8日～12月22日

平成28年

第8回

## 「保育所建築工事 請負変更契約の締結」を可決

～(仮称)船岡保育所～

12月定例会を8日から22日までの15日間で開催した。  
条例の制定1件、一部改正11件、廃止3件、(仮称)船岡保育所建築工事等契約4件、  
補正予算4件、追加議案1件を含む29議案が提案された。  
29議案を審議し、原案どおり可決した。  
一般質問は10人の議員が行政全般についてたずねた。



▲ 建設中の船岡保育所

### 契約

◇新八東小学校校舎改修  
工事請負変更契約の締結  
工事内容の一部を  
変更仮契約したこと  
に伴い、変更金額が  
3億89万1240円の  
増額で、請負金額を  
3億4409万1240  
円に変更するもの。  
増額要因は、校舎外壁

のモルタルが浮いている  
部分とクラックの補修が  
想定数量より多大となっ  
たこと。

### 質疑

①設計の入札は何社で、  
金額の差はどれだけか。  
②変更要因について、設  
計段階での説明はあった  
のか。今後の対応は。

### 答弁

数田教育長  
①入札は3社か4社で金  
額の差は覚えていない。  
②話は出ていた。議会に  
説明しなかったことはお  
詫びする。会社がどこで  
あれ変更は起こり得る。

◇(仮称)船岡保育所建築  
工事請負変更契約の締結  
工期の変更仮契約をし  
たことに伴い、工期を平  
成29年3月10日までとす  
るもの。

要因は、八頭町産材及  
び鳥取県産材の調達に日  
数を要し、一般市場品以  
外の松材の調達にも日数  
を要した。木材接合部の  
手加工作业に手間がか  
かったことなど。

### 質疑

①郡家東保育所の建築工  
事の変更理由と似た点が  
ある。なぜ2年前の実例  
が生かされなかったのか。  
教訓を生かしてどの様  
な対応をしたのか。  
②工期変更が頻繁だ。契  
約に対する認識は。  
③民間なら、工期や納期  
の遅れがあれば「違約金」

が生じるが、損害賠償は請求するのか。

④諸工事の遅延も含め、責任は誰にあるのか。

⑤駐車場、園庭、遊具などの整備は支障がないか。

また、開所式の遅れはあるのか。

⑥八東の保育所の建設が残っているが対応は。

⑦材料不足は夏頃にはわかっていて、議会への説明が11月になった理由は。

は。

**答弁** 吉田町長

①町の産材には限りがあり県や国の産材に転換した。木材の集積に時間を要した。今回はやむを得ない事由だ。

教訓の対応は、早めの発注をして集材材を今回減らしたことだ。

②落札した業者と締結した契約を遵守することだ。

③業者の責任に帰すべき案件ではないと考える。

④総括的な管理ができていなかったため、最終的な責任は私にある。

⑤各々の整備は支障のない対応をする。開所式は

十分に間に合う予定だ。⑥同じ轍を踏まないようにする。

**答弁** 前田福祉環境課長

⑦材料関係で工期延長は考えられていたが、いつまでの延長か判断できなかったため報告が遅れた。

**反対討論** 池本強議員

僅か2年足らずで、同じような理由で変更を認めることは許されないと考え反対する。

**賛成討論** 柴田秀之議員

今回の工期延長は、町産材を使う原則で先に目標があったと思っていないと考える。ある程度はやむを得ないと考え賛成する。

**反対討論** 川西聡議員

保育所の工期延長は二度目だ。「二度あることは三度ある」と言うが、また出る気がする。

◇(仮称)船岡保育所電気設備工事請負変更契約の締結

前記の議案の建築本体

の遅延により工期変更の仮契約を締結したことに伴い、工期を平成29年3月10日まで変更するもの。

**質疑**

工期延長により業者から損害賠償の請求があれば対応しなければならぬ。仮契約の段階で話したのか。

**答弁** 吉田町長

町から提示はしないし、業者からの請求はない。

※工期の変更に関して、吉田町長は議会最終日の冒頭に「発注者としての責任を痛感」「担当職員に対して口頭での厳重注意処分の実施」「町民へのお詫び」などの旨を発言し陳謝した。

**条例**

◇八頭町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の納税環境の整備により、納税者の利便性を図るため、納期を現在の年4回から

年8回に増設するもの。

**質疑**

近隣自治体の納期回数の実態は。

**答弁** 歳岡税務課長

県内、1自治体を除いて8回から10回だ。

◇八頭町農業委員会の委員及び八頭町農地利用最適化推進委員定数条例の制定

「農業委員会等に関する法律」の一部改正が行われたのに伴い、地域の実情に応じてそれぞれの委員定数を定めるもの。

**質疑**

①農地利用最適化推進委員が14人に満たなかった場合の対応は。

②農業委員会の職務である「建議」はどうなるか。

③それぞれの委員定数を14人にする具体的な根拠は何か。

**答弁** 吉田町長

①そのようなことにならないように努力する。

**答弁** 山下農業委員会事務局長

②「建議」という言葉は「意見具申」となるが効力には影響がない。

③面積、農家数、申請件数を基に地域の配分を考慮し14人とした。

**反対討論**

池本強議員 本町の農業を構築する上で農業委員、19人、農地利用最適化推進委員、15人の上限を基準とする定数を求め反対する。



▲ 農業振興の要となる米づくり

◇八頭町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

新しい制度による農業委員及び農地利用最適化推進委員の新たな報酬を適用するため、所要の改正を行うもの。

報酬額は、それぞれ月額2万3000円とする。

**質疑**

本町の報酬は近隣自治体と比較してどうか。

**答弁** 西尾総務課長

県内東部町村の平均額では上回っている。

**反対討論** 池本強議員

新制度への移行でそれなりの報酬であるべきだ。任務の重要性から見ても、立ち入って真剣に再検討することを求め反対する。

◇八頭町立隼小学校校林設置条例の廃止

隼小学校が経営管理している「学校林」を船岡小学校に引き継がない協議が整ったのに伴い、条

例を廃止するもの。

**質疑**

条例廃止後における「学校林」への対応は。

**答弁** 吉田町長

存在は変わらない。

**補正予算**

◇平成28年度八頭町一般

会計補正予算(第5号)

既定の歳入歳出予算の総額に2億2455万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ118億5561万円とするもの。

△主な歳入▽

○生活保護費国庫負担金 986万円

○社会資本整備総合交付金

4303万円

○畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 1383万円

○担い手確保・経営強化支援事業費補助金 1384万円

○若桜鉄道施設整備事業債 2610万円

△主な歳出▽

○生活保護扶助費(医療分) 1315万円

○若桜鉄道対策費 8496万円

○地方創生推進事業費 464万円

○畜産振興費 1583万円

○担い手確保・経営強化支援事業補助金 1384万円

○交通政策費 106万円

○合板・製材生産性強化対策費事業補助金 900万円

○町道東鍛冶屋線改良事業費 3450万円

**質疑**

①若桜鉄道の観光車輛のPR費用を若桜町は出しているのか。

②若桜鉄道対策費の再構築事業の委託内容と委託先を問う。

③合板・製材生産性強化対策事業で「プロセッサ」を整備するが、本町の林業活性化への利点は。

④タクシー利用で、町民から「夜にタクシーを頼んでも営業していない場合が多い」との声を聞く。運転手の運転距離規制のようだ。利用券の意味がない。早急な対策を。

⑤船岡小学校の校章は。

**答弁** 川西企画課長

①若桜鉄道に関するものは本町と若桜町の割合で計上することになっている。

②内容は、踏み切りの保安施設の改良、電柱20本の改良、枕木の交換、車輛の改装など。委託先は全て若桜鉄道株式会社。

**答弁** 矢部産業観光課長

③利点は作業の効率が図られることで、最終的には林業振興につながる。

**答弁** 吉田町長

④町民がせて午後8時

まで利用できるように、鳥取タクシーと話をする。

**答弁** 藪田教育長

⑤小さなものを予定している。

◇平成28年度簡易水道特別会計補正予算(第3号)

既定の歳入歳出予算総額の変更なし。

△予備費493万円で調整

△歳出▽

○工事請負費 493万円

久能寺第2水源地のポンプの故障への対応。

**質疑**

該当のインフラは、耐用年数で交換しないのか。

**答弁** 森脇上下水道課長

下水道は耐用年数を目安に交換、上水道は、約20年の目安で状況判断し予算化している。



▲ タクシー乗場 (郡家駅前)

# 平成28年 第7回臨時会

11月28日

## 条例改正

◇八頭町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院の勧告を尊重し  
「一般職の職員の給与に関する法律」の一部を改正する法律」の成立に伴い、条例の改正をするもの。

給料表の改定率を平均0・2％に改定し期末・勤勉手当の月数をそれぞれ2・6月、1・7月とする。

扶養手当は、現在の配偶者に係る手当を他の扶養親族と同じく6500円、子に係る手当を1万円とする。

平成29年度に限り特例措置を設け、配偶者と子に係る手当をそれぞれ1万円、8000円とする。

### 質疑

民間及びその対象への認識は。

### 答弁

吉田町長  
民間格差だが、本町には人事委員会はない。事業所などの調査は国が約5300力所、県が約1200力所を対象に官民格差の金額を出している。

### 質疑

改正で、職員の給与や勤勉手当は全体で年間いくら上がるか。また、扶養手当はいくらになるか。

### 答弁

西尾総務課長  
全体で一般職が780万円、特別職が43万円。給与は110万

円、期末手当は43万円である。

扶養手当は来年度以降見直すので影響はない。

◇八頭町議会の議員の報酬および費用弁償に関する条例の一部改正

人事院の勧告を尊重し「特別職の職員の給与に関する法律」の一部を改正することに伴い、「八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例」の一部改正を行い、国と同じ月数にするもの。

支給をそれぞれ6月を1・55月、12月を1・7月とする。

◇八頭町特別職の職員で常勤のもの給与及旅費に関する条例の一部改正  
右記の議案の内容と同様のもの。

## 補正予算

◇平成28年度八頭町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出の予算総額の変更なし。

### △歳出▽

○職員給与 899万円

○全国中学校駅伝大会の出場補助金 91万円

(予備費991万円を減額調整)

◇平成28年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出の予算総額にそれぞれ25万円を追加し、予算総額を23億6628万円とするもの。

### △歳入▽

○一般会計からの繰入金 25万円

### △歳出▽

○職員給与等 25万円

◇平成28年度簡易水道特別会計補正予算(第2号)  
歳入歳出の予算総額の変更なし。

### △歳出▽

○職員給与等 17万円

(予備費17万円を減額調整)

◇平成28年度公共下水道特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出の予算総額の変更なし。

### △歳出▽

○職員給与等 8万円

(予備費8万円を減額調整)

◇平成28年度農業集落排水特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出の予算総額の変更なし。

### △歳出▽

○職員給与等 13万円

### △歳出▽

○一般会計からの繰入金 26万円

○職員給与等 26万円



▲アベック出場  
全国中学校駅伝大会(滋賀県)八頭中チーム  
※八頭中学校提供

# 中山間地の農業を どう守るか

## 産業福祉常任委員会

### 閉会中の審査報告

(出席者)

農業振興協議会

会長 田中重樹

水田営農部会

部長 田中正保

果樹部会

部長 西尾愛治

産業福祉常任委員会で  
は閉会中の審査として11  
月28日、八頭町農業振興  
協議会との意見交換会を  
行った。



▲ 農業振興協議会との意見交換 (船岡庁舎)

産業観光課 3人  
産業福祉常任委員会6人

### (意見交換会の目的)

国の農業政策が大きく  
転換する中で、本町でも  
新たに「八頭町農業ビ  
ジョン」を作成し、八頭  
町農業振興協議会を設置  
した。

それに伴う会の運営方  
法、本町の農業経営の課  
題などについての確認を  
した。

### (本町農業を取り巻く環 境概要と問題意識)

○平成29年度から減反政  
策の廃止、農業委員会の  
制度改革がスタート。

○農地中間管理事業によ  
る農地の受委託、耕作放  
棄地の解消を推進。町内  
59ヘクタールの遊休農地  
を5年間で解消する必要  
がある。

○担い手農家の育成や規  
模拡大のための農地集積  
が求められている。  
○フルーツの里として、  
果樹農家の育成、樹園の  
維持管理の継承が喫緊の  
課題である。

○ブランド化や販路拡大  
など、儲かる農業の実現  
にどう取り組むか。  
○国の施策の対象になら  
ない中山間地をどう守る  
か。

### (意見交換会)

◇八頭町農業振興協議会  
の設置目的、運営方法な  
どについて産業観光課よ  
り説明。

◇産業福祉常任委員会委  
員の事前の質問事項につ  
いて、農業振興協議会会  
長、部長より答弁があつ  
た。

◇委員会と協議会との自  
由な意見交換。

### (感想)

○現場ならではの意見も  
あったが、本町農業の問  
題点なり課題は、ある程  
度共有できていると感じ  
た。

○会を作るだけでなく、  
予算を計上してもらいた  
いという意見はもつとも  
で、取り組んでいく過程  
での意見交換が必要と感  
じた。  
○会長より「現場の意見

をビジョンに反映した  
い」との発言があった。  
本町農業の活性化に向け  
て、持ち場、持ち場で尽  
力し、連携する必要がある。  
る。

## 自治功労表彰

2月15日、自治功労として次のとおり  
表彰された。

### 全国町村議会議長会表彰

・町村議会議員として15年以上在職し、  
功労のあつた者

谷本 正敏 議長  
桑村 和夫 議員

### 鳥取県町村議会議長会表彰

・町村議会議員として21年以上在職し、  
功労のあつた者

川西 聡 議員

10人が  
一般質問  
しました。

ここが聞きたい

## 一般質問

テーマ	質問事項	質問者	頁
安全安心	防災と緊急時対応	小倉	11
	災害時における諸対策	川西	14

農業	まちの農業と中山間地域のくらし	池本	8
	農業施策	小林	15

教育	男女共同参画の推進	西尾	9
	学習指導要領改訂に向けた本町の取り組み	尾島	12

福祉・医療	福祉のまちづくりの進捗状況	西尾	9
	健康マイレージ事業	奥田	10
	まちづくり委員会の今後の展開	奥田	10
	地域福祉計画はどうすすめるのか	小倉	11
	みんなの力で地域づくり	河村	13

テーマ	質問事項	質問者	頁
まちづくり	人口対策	河村	13
	連携中枢都市圏構想に基づく鳥取市との協約締結	川西	14
	どうつくる21世紀の八頭町	下田	16
	財政運営	高橋	17

くらし	安藤井手維持管理の方向性と郡家部落の排水計画の進捗状況を問う	下田	16
	子育て支援付プレミアム商品券	高橋	17

## 議員活動を行政に活かせ

### 平成28年度議会報告会

議会では、10月20日から4日間、町内14会場にて午後7時より午後8時30分の日程で開催いたしました。お忙しい中にもかかわらず出席頂きまして、誠にありがとうございました。

#### 報告会の主な意見

- (1) 町の活性化に議会も真剣に議論して。
- (2) 出た意見を行政や議案に活かして。
- (3) 議会は、町を動かす議会になって。
- (4) 議員活動を行政に活かせ。

- (5) 少しは町の状況が理解できた。
- (6) 参加者が少ない、もっと町民が参加できるように。

報告会の一番の課題は、多くの皆様に出席して頂くことだと考えています。多くの皆様が、出席いただけるより良い報告会を行うことです。アンケートの回答に議会報告会は必要との回答は80%を占めていました。内容の充実した報告会を目指して努力いたします。

今回の、報告会のテーマとしては、9月議会会で審議しました「平成27年度決算認定報告」及び「総務教育・産業福祉常任委員会の視察研修報告」並びに3月議会で議決した「議員定数削減（平成29年4月実施予定の町議会議員選挙より、現在の16人を2人削減して14人とした）」について報告いたしました。昨年の皆様からの意見を取り入れて議員活動もテーマにしました。

28年度の報告会の総出席者数は104人で（27年117人）昨年より13



▲ 上私都地区福祉施設にて



池本 強 議員

農業ビジョン

# 経営を守るには 米価安定が絶対条件だが

## 町長/国の施策が担っている部分 は大変大きい

**質問** 平成28年3月に「農業ビジョン」が策定されたが、その目的を問う。

**答弁** 吉田町長

本町の農業を元気にし、展望を切り開く中で、地域資源を次の世代に引き継ぐということ。

**質問** ビジョンでウエイトを占めている「営農支援センター」の設置はどこまで進んでいるのか。いつ発足するのか。

**答弁** 吉田町長

29年度から、この体制で取り組みたい。

**質問** このセンターの運営体制などはどうなっているのか。

**答弁** 吉田町長

局長、専任職員、事務局員の3人体制。またJAから兼任の2人で、この給料はJA負担だ。局長、専任職員については、

町でサポートしていく必要がある。

**質問** 町長は「農業はビジネスだ」とのことであったが、これの意味を問う。

**答弁** 吉田町長

儲かる農業でなければならぬということ。

**質問** この「農業ビジョン」によって、本町の農業、農地は、守られていくという考えか。

**答弁** 吉田町長

平野部については、集積は進むが、奥部の課題は残っていくと思う。

**質問** 経営を守るには、米価安定が絶対条件だと考えるがどうか。

**答弁** 吉田町長

国の施策が担っている部分は大きいものがあると思う。

**質問** 今、国の米を含めた農業政策はどうなっているのか。米の直接支払交付金は半分になった。ナラシ対策も法人などでないと払れない。生産調整も再来年には廃止される。

**答弁** 吉田町長

担い手農家を育成するといっても米価が下がれば、大規模経営も経営的ダメージを受ける。30ヘクタールで米国や豪州の米作と太刀打ちできるのか。

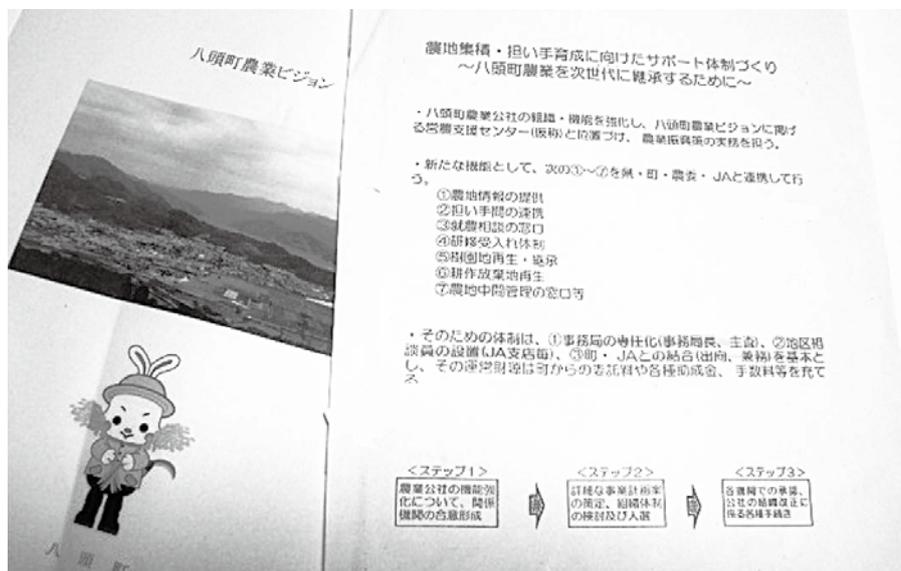
中山間地域の農業は、兼業農家も含めた多様な農家があつてこそ農業が守られ、地域の集落そのものが守られていくと考えるが、町長の認識は。

**答弁** 吉田町長

環境整備が必要だと思うが、ブランド化ということ、本町でつくる米、特色ある米をつくって、価格安定につなげていけたらと思う。

**質問** それで農業、農地が守

られていくことにはならない。先ほど言った米をめぐる情勢は、生半可なことで解決することではない。



▲ 策定された農業ビジョン



西尾 節子 議員

# 福祉

## まちづくりの進捗状況は

### 町長/集落に出かけて進める

**質問**

まちづくり計画に沿って、町内14地区のうち9地区で取り組まれている。残された郡家西・国中・船岡・八東・丹比地区は動きがないが、この現状をどう考えているか。

**答弁**

吉田町長

当時から課題となっていた人口減少と少子高齢化の進展・独居高齢者や認知症高齢者・要介護高齢者の増加はさらに進行し、生活の中で不便さや困難さを抱えた世帯は増加している。

このような現状を踏まえ、おおむね旧小学校区の単位とする福祉の「まちづくり委員会」の立ち上げを推進している。

また取り組んでいない

5地区は、集落数も多く面積も広いため、皆さんの合意形成に一層の努力が必要と考えている。

区長はもとより、老人クラブ・女性団体・障がい者団体などと、話し合いの場を持ちたいと考えている。

**質問**

この計画は、社会福祉法第107条に定められた法定計画で、  
(1) 福祉サービスの適切な利用の推進。  
(2) 地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達。

(3) 地域福祉に関する活動への住民参加の促進。

以上の項目を具現化することが要件となっているが、あと1年2カ月でどう推進するのか。

**答弁**

田中福祉事務所長  
下準備をしたい。

**質問**

それぞれの地域に町が声をかけることが大切ではないか。

**答弁**

吉田町長

老人会や障がい者の団体になろうかと思うが、理解してもらいその上で区長に集まってもらって、本町として「こうやりたい」と示したい。

## 男女共同参画

### 進捗状況は

### 町長/講座の開催など

### 啓発に努める

**質問**

平成28年3月、第3次男女共同参画プランが作成された。

条例の内容の6項目の中で、「農業分野・地域とむら・暮らし」の中では第1次からあまり進んでいないように感じているが進捗状況は。

政策方針決定過程への

女性の参画拡大については、各種審議会委員などへの登用率50%を目標として取組んでいる。

集落役員への女性登用促進に向けて、目標値を定めて啓発を継続実施していくとともに、政策方針決定過程への女性参画拡大に向けた施策を実施し、集落に向いて講座を開催するなど啓発に努め、目標に近づけるよう女性登用の啓発を推進したい。

**答弁**

吉田町長

指摘のように、女性の適切な評価があまり進んでいない。

来年度は、新しく農業委員会及び農地利用最適化推進委員の選任がある。

募集があるので、農業者の実態からみても、多くの立候補と女性委員選出の重要性について理解を望む。

○その他の質問  
・保育所の米飯給食の検討を



▲ 男女共同参画講座 (かがやきて)

一般質問 いろいろが聞きたい



奥田のぶよ 議員

健康マイレージ

# 事業導入検討の進捗状況は

## 町長/他町村の実績効果で判断したい

質問

9月定例会で健康マイレージ事業を本町に導入してはどうかと質問したが、「他町を参考にし、健診の受診率向上に取り組みたい」との答弁であった。現在の進捗状況はどうなっているのか。

答弁

吉田町長 県内で半数余りの自治体でマイレージ事業が実施されている。取り組みの大きな目的は健康診断の受診率向上につながるもので、どの自治体も共通の課題だ。

現在、健診受診率や健康意識がどの程度高められるか、またどのような効果が期待できるのかなどを実施している他町村の実績効果で判断したい。

質問

保健事業、社会教育などで実施している健康に関する事業に比べポイントがつくような大きな形の取り組みにしては。

答弁

吉田町長 楽しみながら健康意識を上げることが必要だと。生涯スポーツを継続されることは健康維持につながると承知している。

質問

介護予防手帳の制度は。

答弁

吉田町長 介護予防は本当に重要だ。視野に入れた取り組みを検討したい。



▲ 総合健診会場の検診車（郡家保健センター）

質問

14地区で「まちづくり委員会」の設立を目指して、現在9カ所を立ち上げて、検討しているのが

### まちづくり委員会

## 地域支援事業との連携、推進は町長/住民主体の介護予防事業の枠組みを推進する

質問

1カ所だ。残り4カ所の状況と今後の展開は。  
②平成29年度末をもって介護保険の予防給付が地域支援へ移行となる。委員会との推進はどうなるのか。

答弁

吉田町長 ①地区住民の合意形成に向けて拠点をどこに置くのか、空き施設の動向も踏まえ協議したい。  
②本町は29年4月から介護予防日常生活支援総合事業へ移行するが、利用者は現行どおりのサービスが利用できる。

質問

介護保険のサービス費用が増えている。計画はどうなっているか。

答弁

吉田町長 介護を必要とする人は増えている。大きな課題としてとらえ、力を入れて取り組む事業だと考える。

質問

地域お助け隊とはどのようなものか。

答弁

小林保健課長 地域のボランティア、委員などのサポーターを考えている。

○その他の質問

・各種計画策定の際の町民アンケートについて



小倉 一博 議員

地域福祉計画

まちづくり委員会の目的は

町長/地域の力を強化する

質問

地域福祉計画の「まちづくり委員会」設置の事業目的と、どのような成果を狙っているのか伺う。

答弁 吉田町長

少子高齢化、人口減少が進んでいる。町や地域の支え手となる若い世代の減少も深刻だ。地域におけるつながりやコミュニティの低下は、孤立状態の人の増加をはじめ、地域の課題が増えている。住民の支え合う力を強化する新たな仕組みとしての「まちづくり委員会」を旧小学校区ごとに立ち上げる。

事業展開により、地域福祉計画の「住民誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられる」地域づくりの実現を目指す。

質問

9地区で「まちづくり委員会」が動き出したが、今後の取り組みはどう広がっていくのか。

答弁 吉田町長

本町として「まちづくり委員会」の自主的な取り組みを支援、後押しをする。

残る5地区に関しては、集落数も多く範囲も広いので、一層の努力と工夫が必要だ。保育所・学校統合などで空き施設も出てくるので、地区住民の意向など考慮しつつ協議を進める。

質問

地域福祉計画については、介護保険制度の変更もあり、行政としては責任を持った形でのスタートと認識している。

計画の目的、推進方法、事業のメリットなど、事業実施の必要性が町民に届いているのかという思いがある。十分にPRをしてもらいたいが。

答弁 吉田町長

鳥大の学生が300世帯余りを訪問して、介護の不安や認知症や生活不安などを調査したうえで計画策定をしている。「まちづくり委員会」はそれぞれの地域に合った計画を作成、活動している。まだの地区はメリットなども周知して、早立ち上げに努力する。

質問

職員消防は職員減の現状で維持できるのか。県によると本町の自主防災組織の組織率は100%となっているが、高齢化や人口減の中で、今後の運営をどう考えているか。

答弁 吉田町長

「八頭町消防団」は9分団と女性消防隊で、高齢化もあるが定員133人、実働130人で維持している。

質問

初期活動、啓発の意味で自警団の役割は大きい。助成金も出ている中で、役割や体制整備などについて指導されるべきではないか。

答弁 吉田町長

防災訓練、機械点検などを願っている。  
○その他の質問  
・山間地の営農支援について  
・廃屋増加の対策について



▲ 備えあれば憂いなし

防災

自警団への指導は

町長/防災訓練に参加を

一般質問 ここが聞きたい



尾島 勲 議員

新学習指導要領

# 本町の取り組みは

## 教育長/地域学校協働推進事業を活用したい

**質問**

新学習指導要領で示されている、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」について、本町では今後、どのような教育現場、教育環境づくりを検討し実施しようとしているのか伺う。

**答弁**

藪田教育長  
社会に開かれた教育課程の実現に向けてのカリキュラムマネジメントは学校経営において中核に位置づくものとして重要であり、本町としてそのための条件づくり、整備が必要である。

具体的には平成29年度以降、国庫補助事業の地域学校協働推進事業に移行し活用したい。

各校区に地域と学校をつなぐ地域コーディネーターを配置し、地域住民参画の推進を図るとともに地域未来塾、放課後児童教室、家庭教育支援などの取組みを通じて、地域と学校が連携、協働し本町全体の教育力の向上

及び地域の活性化を図るよう体制整備に取り組みたい。

**質問**

本町ではカリキュラムマネジメントを各学校別に組み立てるのか。

**答弁**

藪田教育長  
現在確定してはいませんが、本町はものの考え方を一つ持つ必要がある。

学校はそれぞれに教育目標を持っており、学校の自治も大切にしながら組み立てられたらいいと考えている。

**質問**

問題の発見や解決能力、情報活用能力を身に着けるためのプログラミング教室を、どのように展開していくのか。

**答弁**

藪田教育長  
学校の授業として成り立たせるためには、これからの検討課題になるので、もう少し時間をいただき詰めていきたい。

**質問**

33年1月の大学入試制度の変更、グローバル化、ICT化に伴い今後外国語教育の手段を小中学校でどのように講じるのか。

**答弁**

藪田教育長  
小学校5・6年生で先生に授業を行ってもらうことになる。現在は授業ではなく、活動である。果たして英語教諭の人数が間に合うか危惧している。

**質問**

どのように学ぶか、教職員に対するアクティブラーニングの導入方法を伺う。

**答弁**

藪田教育長  
中学校の先生の人数分のタブレットを29年度で整え、徐々に広げ準備を進めたい。  
既にアクティブラーニングは色んな所で展開している。



▲ 液晶プロジェクターを活用した英語の授業(八頭中学校)



河村 久雄 議員

# 人口対策

## 目標 1万7000人を割った対策は 町長/大学生の学費助成も 検討課題だ

**質問**

本町の目標人口を1万7000人とし取組みされてきたが、平成27年の国勢調査では計画を下回り、県内19市町村では悪い方から5番目である。

現在実施されている対策はもとより、新たな中長期対策のアクションプランを検討する必要があるが。

**答弁**

吉田町長  
総合戦略で示した、働く場の確保や子育て、教育環境の整備、移住、定住対策などに総合的に取り組んでいく。

**質問**

町有財産の遊休土地、建物を調査し、有効利用して人口対策の中に取り組んでは。

**答弁**

吉田町長  
台帳の整備中であり、28年度末で完了の予定。

**質問**

町有施設が台風で壊れた跡地がある。代わりは近くのJA施設を改良し利用もできるが。

**答弁**

吉田町長  
遊休施設があれば撤去もできるが、地域の皆さん方が望まれるということであれば分譲し住宅を建ててもらえればと考える。

**質問**

本町出身の大学生に学費助成を行うことは定住の一つの政策ではないか。

**答弁**

吉田町長  
助成は一つの子育て支援の検討課題と捉えたい。

**質問**

本町のサロン・老人会・地域福祉組織の構成と問題、課題について伺う。

**答弁**

吉田町長  
サロンの実施状況は、現在130集落中82集落が実施中で63%。老人クラブは75集落で約58%。地域づくりを進める上で役割は重要であり、リーダー育成に取り組んでいく必要がある。

**質問**

福祉人材の育成確保については、来年度に改定を予定している「地域福祉計画」及び「障害福祉計画」の主要課題として取り上げ、対策を協議・検討していく。

**質問**

集落が元気になることは、本町が元気になると

## 地域福祉

サロン・老人会・地域福祉の活動と問題点は  
町長へ元気な高齢者を増やして  
いく取組みを考えている

きかけてみたい。

**質問**

地域福祉拠点施設にコピー機がない。いろいろと会議の招集はされるがこれらの対応について。

**答弁**

吉田町長  
コピー機などは事務局を通して話をする。報酬については検討課題として内部で協議する。

**質問**

○その他の質問  
・がん検診受診率について  
・知的財産の構築



▲ いきいき百歳体操～中私都福祉施設～



川西 聡 議員

福祉避難所

指定施設の増設を

町長/現在の施設を拠点としたい

質問

①福祉避難所は、災害時に要援護者のために必要な配慮を目的に開設されるもので、震災関連死が続発した阪神大震災を契機に制度化された。県内では、要援護者である高齢者や障がい者を受け入れる施設の確保が非常に遅れている。

本町の設置状況は3カ所、人口が同規模の大山町は10カ所である。全国的には、市町村が民間の福祉施設などと協定を結んで指定するケースが多い。増設するべきでは。②適正な食料の備蓄や避難後の福祉機器の整備は。

答弁 吉田町長

①7月15日に「災害時の避難行動要支援者の避難のための施設利用に関する協定」を11事業所、21施設と締結した。

本町は現在の3施設を拠点として、事業者施設の協力、県及び周辺自治体や初動期の地域住民との連携・協働、地域防災体制の充実・強化を推進

し要援護者を福祉避難所へ、また事業所施設、医療機関などへの誘導・搬送を行う体制を構築したい。

②備蓄品はある程度のもので、福祉機器は十分に備えている。

質問

支援の対象者や家族構成などは把握しているか。

答弁 田中福祉事務所長

前者は「要支援者台帳」を整備し把握しているが、後者は、独居高齢者について8割の把握、残りの緊急時の連絡などは未把握だ。

質問

4月13日に智頭町で開催された、「第3回地方創生鳥取因幡・北但西部連携戦略会議」は、連携事業について、構成市町の首長の間で今後の取り組み及び新たな広域連携に向けた勉強会の立ち上げなどの協議や意見交換を行った。構成7市町は鳥

連携中枢都市圏構想

道州制への布石ではないか

町長/東部圏域の将来像づくりだ



▲福祉避難所の指定施設（船岡保健センター）

質問

取・八頭・若桜・岩美・智頭・新温泉・香美である。席上、鳥取市の深澤市長は「戦略会議の構成市町が協力して、行政サービスの提供や地域活性化に取り込む『連携中枢都市圏』の形成に向けた調査研究を進めるために国の支援事業に応募する」という考えを示して、参

集の首長の了承を得た。①町長が市長の考えを了承した理由は。②鳥取市が中核都市を目指すことで、国が地方自治法を改正し介入する都市機能の強化は、将来の道州制の布石だと考えるが所見は。③構想に基づく協約の本町のメリットは何か。④都市圏構想ビジョンの本町の関わりは議会にどの時点で報告するのか。

答弁 吉田町長

①当圏域で定住自立圏や地方創生の広域観光連携などの取り組みを行っている。以上を検証し、今後の展開へと進める上でも調査が必要と判断した。

②鳥取市が圏域のリーダーとして中核市を目指すことを本町は否定出来ない。東部圏域の将来像づくりであり国の介入はない。

③雇用の創出・広域観光の振興・移住定住の促進・医療体制の充実など。④基本方針案やビジョンの素案が出された時点で協議する。

○その他の質問

・八頭町放置家屋等の適正管理に関する条例に「緊急安全措置」を付記する改正について



小林 久幸 議員

# 農業振興

## 「きぬむすめ」のブランド化は

### 町長/特性を見出す

**質問**

農業は、本町の経済活動の基盤となっている重要な産業であるとともに、多くの雇用を創出してきた。しかし就農者の高齢化や後継者不足、さらには農作物の販売価格の低迷、農薬や資材の高止まりなどによって、その基盤自体が危惧されている状況だ。

本町の農業は、存続をかけた転換期に立たされているのではないか。

本町として、「きぬむすめ」のブランド化に向け、どう取り組むのか。

**答弁**

吉田町長

本町の「きぬむすめ」はここが違うという特性を見出していかねばならぬと考えている。いわゆる特徴など、他との違いが明らかになることが必要不可欠だと考えている。

**質問**

鳥取産米「きぬむすめ」は、平成27年度まで全国の食味コンクールで3年連続特のAをとっている。

本町の「きぬむすめ」の評価はどの様なものか。

**答弁** 矢部産業観光課長  
平均して84から85、一番高いものは90ぐらいまで上がったものもある。

**質問**

食味値84から90の裏づけでブランド化に向かうのは、貧弱と思うが、これで十分なのか。

**答弁**

矢部産業観光課長

食味計の数値だけでブランド化を進めている地域もある。しかし水と温度、土壌改良、天日干しをするなど、工夫がなされなければブランド化にはつながらない。

**質問**

この「きぬむすめ」、一等米比率が非常に高い。一反当りの収穫量が多い多収穫米だ。肥料を多く施肥しても倒れない。米の買入れ価格が下がる中で、収量増で落ち込み分をカバーできる米であり、一俵でも多く

穫ろうとしているのが農家の実情だ。

農家が目指す方向と、審議会にずれがあるように見える。本町のブランド化のコンセプトをどのように考えているのか。

**答弁**

吉田町長

八頭米のブランド化を重要課題と位置づけている。販路や栽培技術、さらには収量のことなどもあろうと思う。

**質問**

今までの化学肥料を主体にした農法か。堆肥を使った有機特裁の農法なのか。

化学肥料、農薬の5割減以上を低減する減化学肥料、減農薬栽培なのか。

**答弁**

矢部産業観光課長  
今後はどのような戦略でいくか協議する。

**質問**

日本中で一番おいしいお米だと思っても、買う人に伝わらないと買ってもらえない。

販売広告のコンセプトはどのような内容か。

**答弁** 吉田町長  
具体的な内容については、これからの協議の中で決定される。

○その他の質問  
・丹比縦貫線の維持管理について



▲酒米（山田錦）で作った私都味噌を2016シアル食品見本市に出展（フランス）



下田 敏夫 議員

21世紀の八頭町 どうつくる

# 観光行政の目的は

## 町長/地域経済の活性化だ

質問

地方創生の総合戦略の柱でもある観光行政。

その内容について何を目的に、何を目標に具体的にどうやって成果を上げていくのか、全く見えない。

町長に、次の点について問う。

- ①観光資源としての若桜鉄道の今後の活用方法は。また、今後のSLの活用は。
- ②観光における必須条件といわれる「食べる」「泊まる」「温泉」「遊ぶ」について今後の取り組みは。

答弁

吉田町長

観光の目的は、地域経済の活性化だ。

①若桜鉄道は鉄道そのものも観光資源としてその魅力を備えている。

若桜鉄道沿線の駅舎や原風景、沿線地域の若桜鉄道を守る会など、若桜鉄道に関わる全てのが観光資源となり得る。

平成30年1月頃に水戸岡デザインの観光列車、「昭和」の運行も始まる。今以上に、イベント列車の運行や沿線活性化イベ

ントを実施し、観光客の増加につなげたい。

SLを本当に走らせようとする、概算の試算で10億円という費用だ。運行は夢だと思っている。今時点では困難である。

②「食べる」だが、フルーツ、農産物、それを加工した新商品も開発し発表している。今後は、地域に根差した新しい商品開発販路の拡大に努め、支援もする。

「泊まる」では、町内には宿泊施設が少ない状況だ。既存の民泊開設の補助金をさらにPRするなど、農家民泊など宿泊場所の増加に向け支援、取り組みを行う。

「温泉」は稼ぐ観光として重要なツールである。船岡美人温泉を本町での意見もあるが、民間事業者が復活する動きがあれば既存制度を活用した支援をする。

「遊ぶ」では滞在時間を延ばしてもらうことは重要な要素だ。体験型観光の造成に向け支援策を検討する。

### 安藤井手

**安藤井手の維持管理と郡家部落の排水計画の進捗状況は**

**町長/安藤用水は大切にしていけるべき水路だ**

質問

①1823年、3年間の年月と今のお金で15億円という巨額の費用を投入して完成したが、現在、安井宿から御門、郡家、宮谷を通る10・8キロの「安藤井手」である。

本町の文化財指定であり、郡家部落唯一の水路だ。防火用水としても大変大切なものである。完成後200年近く経ち、老朽化が進んでいる。今後の維持管理を伺う。

②郡家部落の長年の課題である排水計画の進捗状況と、今後の具体的な展開を伺う。

答弁

吉田町長

①「安藤井手」は現在、一括して管理をしている安藤井手用水組合と協議

をしながら国・県の補助事業を活用し、適宜施設の改修更新を行うなど、支援している。

である。「安藤井手」は本町の文化財であり、大切にしていけるべき水路である。②郡家部落の排水対策は長年の懸案事項であり、安心して暮らせる生活基盤整備に欠かせない対策だ。



▲安藤伊右衛門翁の記念碑（本庁舎横）



高橋信一郎 議員

補助金援助団体

補助金が定額化していないか

町長/後で精算という形をとっている



▲ 八頭町商工会（船岡）

質問

部落解放同盟協議会、老人クラブ連合会、観光協会、特に商工会については、要望書のとおり何年も同額補助が続いている。精算なら数字に変動があつて然るべきだが、何か約束でもあるのか。

答弁

吉田町長 各種団体の補助金については、精算という形をとっている。よつて、必要な部分に当たつての助成金と解釈している。

質問

議事録を見ると、町長は昨年2月の臨時議会で「子育て付き商品券事業」と答弁した。ところが、子育ては商工会の単独事業で、別途、寄付を募るものだった。

商品券発行事業

子育て支援は商品券とセットだったか

町長/子育て支援付きと言ったか覚えていない

質問

町民から「私は子育てに協力した覚えがない」「誰が子育てのお金を払ったのか」との声を聞く。商工会の一事業に手を貸すかのような、町民に勘違いを引き起こさせるやり方は問題があるので。

答弁

吉田町長 総額一億円のプレミアム商品券とは言つたが、子育て支援付きと言つたか覚えていない。誤解を与えないような周知が必要だ。

質問

子育ては確かに自治体の取組みとして重要だ。しかし、商工会がこうした協力を集めなければならぬほど、本町は切羽詰まっているのか。

答弁

吉田町長 子育て支援策というのは色々ある。今回の子育て支援付きという事業は、商工会独自でされたということだ。

質問

商工会単独の慈善事業なら、尚更、補助金の出し方おかしい。補助金の種類は運営費などの交付金と、事業そのものに補助する事業費の2種類だ。

答弁

吉田町長 今回、事業主の出資金なしでの全額補助は、普通あり得ないと思うが。

答弁

吉田町長 これは、地方創生の交付金で、地域の消費喚起や地域経済を循環させる事業について行う事業補助金だ。

質問

商品券自体の効果、いわゆる経済効果はあつたと思うか。

答弁

吉田町長 町内の経済効果はあつ

たと思つている。

質問

プレミアム部分の現金2200円は貯蓄に回つてしまつた。経済効果はお金が動かないとどうにもならないし、狙いの税収も上がつてこない。

答弁

吉田町長 そのような中、商品券はやめた方がいいと言つた議論がある。この辺で実施しているのは本町と若桜町だけだ。どう考えるか。

答弁

吉田町長 全国的にも議論はあるが、消費喚起ということからすれば、重要な一つの事業だと考える。他町のことはわからない。

# よく分かる

## 議案等議決結果 (第7回臨時会・第8回定例会)

### ○全会一致で可決したもの

議案等番号	件名	議案等番号	件名
<b>第7回臨時会</b>			
104	八頭町職員の給与に関する条例の一部改正について	109	平成28年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第2号)
105	八頭町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	110	平成28年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第2号)
106	八頭町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	111	平成28年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第2号)
107	平成28年度八頭町一般会計補正予算(第4号)	112	平成28年度八頭町介護保険特別会計補正予算(第2号)
108	平成28年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		
<b>第8回定例会</b>			
117	財産の貸付について(振動ふるい機)	128	八頭町技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
118	鳥取県町村職員退職手当組合の共同処理する事務の変更及び鳥取県町村職員退職手当組規約の変更について	132	八頭町立学校施設使用条例の一部改正について
119	鳥取県町村消防災害補償組合の解散について	133	八頭町公民館条例の一部改正について
120	鳥取県町村消防災害補償組合の解散に伴う財産処分について	134	八頭町社会体育施設条例の一部改正について
121	町村等の非常勤職員の公務災害補償等に関する認定委員会及び審査会の共同設置の廃止について	135	八頭町立隼小学校林設置条例の廃止について
122	八頭町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の廃止について	136	八頭町立隼小学校財産管理条例の廃止について
123	八頭町税条例の一部改正について	137	平成28年度八頭町一般会計補正予算(第5号)
124	八頭町国民健康保険税条例の一部改正について	138	平成28年度八頭町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
125	八頭町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	139	平成28年度八頭町公共下水道特別会計補正予算(第3号)
126	八頭町介護保険条例の一部改正について	140	平成28年度八頭町農業集落排水特別会計補正予算(第3号)
127	八頭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	141	平成28年度八頭町簡易水道特別会計補正予算(第3号)

### ○賛否の分かれた議案

議案等番号	議席番号	件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
			山本弘敏	小林久幸	坂根實豊	下田敏夫	奥田のぶよ	欠員	西尾節子	小倉一博	河村久雄	川西聡	桑村和夫	尾島勲	高橋信一郎	池本強	栄田秀之	
<b>第8回定例会</b>																		
113		新八東小学校校舎改修工事請負変更契約の締結について	欠	○	×	○	○		×	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
114		(仮称)船岡保育所建築工事請負変更契約の締結について	欠	○	×	○	○		×	○	○	×	×	○	×	×	○	可決
115		(仮称)船岡保育所電気設備工事請負変更契約の締結について	欠	○	×	○	○		×	○	○	×	×	○	×	×	○	可決
116		(仮称)船岡保育所機械設備工事請負変更契約の締結について	欠	○	×	○	○		×	○	○	×	×	○	×	×	○	可決
129		八頭町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	欠	○	○	○	○		×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
130		八頭町農業委員会の委員及び八頭町農地利用最適化推進委員定数条例の制定について	欠	○	○	○	○		×	○	○	×	○	○	○	×	○	可決
131		八頭町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	欠	○	○	○	○		×	○	○	×	○	○	○	×	○	可決

賛成「○」、反対「×」、議場退席「-」、欠席「欠」で記載。議案の採決は、谷本正敏議長を除く14人で行う。

# 平成28年（1月～12月）定例会等の出欠日数一覧

## 【定例会・臨時会】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
会議名	山本弘敏	小林久幸	坂根實豊	下田敏夫	奥田のぶよ	欠員	西尾節子	小倉一博	河村久雄	川西聡	桑村和夫	尾島勲	高橋信一郎	池本強	栄田秀之	谷本正敏
第1回臨時会（2/15）	出 1	1		1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠		1													
第2回定例会（3/7～24） ※本会議6日間	出 6	6	2	6	6		6	6	6	6	6	6	5	6	6	6
	欠		4										1			
第3回臨時会（4/28）	出 1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠															
第4回臨時会（5/27）	出 1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠															
第5回定例会（6/7～21） ※本会議6日間	出 6	6	6	6	6		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	欠															
第6回定例会（9/5～21） ※本会議6日間	出 6	6	6	6	6		6	6	6	6	6	6	5	6	6	6
	欠												1			
第7回臨時会（11/28）	出	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠	1														
第8回定例会（12/8～22） ※本会議5日間	出	5	5	5	5		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠	5														

## 【議会運営委員会・常任委員会・特別委員会】

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
会議名	山本弘敏	小林久幸	坂根實豊	下田敏夫	奥田のぶよ	欠員	西尾節子	小倉一博	河村久雄	川西聡	桑村和夫	尾島勲	高橋信一郎	池本強	栄田秀之	谷本正敏
議会運営委員会（24回）	出 20							24	22	24	24	22			24	24
	欠 4								2			2				
総務教育常任委員会（26回）	出	23	16				25			26	26	25		23		25
	欠	3	10				1					1		3		1
産業福祉常任委員会（18回）	出 13			17	18			18	18				18		17	
	欠 5			1											1	
議会広報常任委員会（21回）	出	14	2	11	21				20	21					16	
	欠	7	19	10				1							5	
議会改革推進調査特別委員会（11回）	出 9	11	4	11	11		11	10	11	11	11	11	11	10	11	11
	欠 2		7					1						1		
学校・保育所統合等調査特別委員会（1回）	出 1	1		1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	欠		1													
行財政改革に関する調査特別委員会（4回）	出 2	4	2	3	4		4	4	4	4	4	3	3	3	4	4
	欠 2		2	1								1	1	1		

# 私も言いたい ~議員OBからの声~

## 議会の役割とは

元八頭町議会議員 森山 大四郎



議員を離れ4年が経とうとしています。この度、編集委員長から原稿依頼を受け「議員OBの声」を書くことになりました。

現役の時、よく「地方議会の改革」とか「地方議会のあり方」を耳にしておりました。一人一人の議員が、その地域にあった民意をどこまで把握することができると言われていましたが、町内、多様な意見集約を必ずしもできたわけでもなく、当時の自分に課せられた宿題でもありました。

平成28年は27年11月に成立した「地方創生の総合戦略」が全国自治体に打ち出され、その旋風が巻き起こった年ではなかったかと思えます。

八頭町議会議員も、定例会の一般質問でも毎回、複数の議員が執行部に質問されています。今後は執行部との二元代表制の中で、もつと議会の主導権を発揮していただきたい、そんな気持ちです。

委員会の運営の中には、常任委員会、特別委員会があるように、それぞれの委員会の権限が与えられています。特に常任委員会は現在3つの委員会で構成されており、それぞれの所管の問題点、改良点などをもつとより分かり易くオープンに知らせることが大事ではないかと考えます。年に一度は委員会の代表質問制度を導入されてみてはとの提案です。

時折、ケーブルテレビの議会で中継で一般質問を見ることがあります。議員の皆さん、それぞれ執行機関と十分な準備をした形で望まれていると思いますが、時々、大所高所の政策論がいつの間にか部分的な質疑で終始している議員も見かけます。色々、調査されていると思いますが、日々新しい創意と工夫を生み出して議員活動を目指していただきたい。

定例会本会議を  
ケーブルテレビで  
中継しています

議会の傍聴を  
してみませんか

一般質問は  
再放送しています

TEL 0858-72-3975  
FAX 0858-72-2641  
(議会事務局)

八頭町議会

検索

月 日	曜	開議時刻	日 程	月 日	曜	開議時刻	日 程
3月3日	金	8:40 9:30	○ 全員協議会 ○ 本 会 議 1 開 会 2 会議録署名議員の指名 3 会期の決定 4 諸般の報告、請願・陳情の委員会付託 5 町長施政方針 6 議案上程 7 向上に対する町長の提案理由の説明 散会后 ○ 全員協議会 (議案説明)	3月11日	土	休日	
3月4日	土	休日		3月12日	日	休日	
3月5日	日	休日		3月13日	月	9:00	○ 常任委員会
3月6日	月	9:30	○ 本 会 議 1 議案に対する質疑等 2 議案の委員会付託	3月14日	火	9:00	○ 常任委員会
3月7日	火	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問	3月15日	水	9:00	○ 常任委員会
3月8日	水	9:30	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問	3月16日	木	9:00	○ 連合審査会
3月9日	木	9:30 散会后	○ 本 会 議 1 町政に対する一般質問 ○ 連合審査会 (議会・執行部) (事務事業計画)	3月17日	金	休会	《午前：町内小学校卒業証書授与式》 午後：予備日
3月10日	金	13:30	《午前：八頭中学校卒業証書授与式》 ○ 連合審査会 (議会・執行部) (事務事業計画)	3月18日	土	休日	
				3月19日	日	休日	
				3月20日	月	休日	(春分の日)
				3月21日	火	9:00	○ 全員協議会
				3月22日	水	休会	事務整理日
				3月23日	木	9:30	○ 本 会 議 1 常任委員長付託議案審査報告 2 議案の可否決定 3 常任委員長付託請願・陳情審査報告 4 請願・陳情の採否決定 5 閉 会

※なお3月3、6、7、8、9、23日はケーブルテレビで中継の予定です。

## 編集後記

12月定例会では、「船岡保育所建築工事請負変更契約の締結について」を始めたとして関連の議案に対して、質疑・討論など激しい論戦が展開されました。関連議案の採決は僅差でしたが、いづれも可決成立しました。

この問題をトピックスに掲載するか否かを巡り、編集委員の間で意見が分かれ、トピックスは見送りとなりました。これで3連休となりました。本号は新しい掲載記事も取り入れて、みなさんに親しみを感じていただけるような編集を心掛けてました。

編集委員が携わるのは3月定例会を残すのみとなりましたが、有終の美を飾る気持ちで取り組んでいきます。ご意見をお聞かせ下さい。

(記：川西 聡)

編集委員  
委員長 川西 聡  
副委員長 奥田のぶよ  
委員 小林 久幸  
委員 坂根 實豊  
委員 下田 敏夫  
委員 河村 久雄  
委員 栄田 秀之